

令和 2 年 4 月 16 日

浜松市長
鈴木 康友 様

浜 松 市 議 会
市民クラブ 所属議員一同

新型コロナウイルス感染症に対する緊急提言

世界中で新型コロナウイルス感染が蔓延し、日本においても国は感染拡大阻止のため緊急事態宣言を発出した。しかしながら国内全体では感染拡大が続いている状況にあり、本市においても 4 月 15 日時点で 7 名の感染者が確認されており、感染拡大に対する市民の不安は大きい状況にある。

一方で、外出自粛要請により観光・飲食・ホテル・タクシーなど多くの業種で甚大な影響が出ている。さらには、製造業においても世界経済や貿易の停滞などに因る甚大な影響が発生しており、経済や雇用状況などが危機的な状況となっている。

本市においては、感染拡大防止に向けた市長メッセージの発信や、市立小・中学校等の臨時休業の決定、20 億円の補正予算措置を講じるなどの対策を実施しているところであるが、市民から感染拡大に伴う不安の声や、経済的支援の要望を初めとして、学校教育や日常生活に関する多くの声が寄せられている。

国は外出自粛要請を出したが、強制力を持たない外出自粛要請のため市民への危機感が十分に浸透していない。また、事業規模 108 兆円の経済対策についても実態に即していないとの声が聞かれる。一方で、他の自治体では各地の実情に応じた対応策を打ち出している状況もあるなか、可決済みの補正予算額 20 億円にこだわることなく、実態に即した本市独自の経済支援など、市長の強いリーダーシップが求められる。

私たち市民クラブは、現時点において届けられた多くの市民の声をまとめ、下記の緊急提言を行うものである。

記

1. 情報発信について

- ・外出自粛要請などの市長から市民に対する定期的かつ継続的な強いメッセージの発信
- ・感染者行動履歴及び回復状況などのスピーディな情報発信による感染拡大の防止、及び風評被害の防止、市民の不安払拭のため、高齢者・障がい者・外国人等を含めた市民に向けたプッシュ型情報発信（SNS・防災ホットメール、新聞広告、他）

2. 医療体制について

- ・感染者の増加を想定した準備（病床数の確保、軽症者隔離施設、人工呼吸器、ECMO の追加とオペレーター手配、看護師確保に向けた元看護師への依頼等）
- ・医療従事者へのマスク等備品の十分な配備（医師、看護師、救急隊員等）
- ・感染検査体制の拡充

3. 自粛要請の影響対応について

- ・本市在住の外国人を含めて、経済的に困窮している方に対する市の独自支援の実施
- ・自粛要請により影響を受けている個人・事業者への経済的な支援（家屋・店舗家賃補助等の生活・事業継続に即効性のある施策の実施）
- ・緊急雇用対策として、雇止めや内定取り消し等により職を失った市民の為に臨時職員として雇い、新型コロナウイルス感染症関連業務を実施（公共施設の手すり、ドアノブ、ボタンなど人が触れる場所の除菌作業や混雑緩和に向けた案内要員の配置など）

4. 小中学校・市立高校の学校休業の対応について

- ・新学期早々の学校休業による学習の遅れを挽回するための考え方と施策の早期提示、合わせて今年度設置予定の小中学校の空調設備の前倒し早期設置実施
- ・小中学校の休業や外出自粛要請を受けている子供たちのメンタルヘルスケア対策
- ・自習学習対象学年の拡大
- ・休業中の自宅学習支援の強化（教育委員会からの指導方針の発出、ICT 活用による自習、質問対応など）
- ・臨時休業に関する相談窓口の設置（学校直接ではなく教育委員会に設置）
- ・幼稚園、保育園、放課後児童会の自主登園・利用の検討、合わせて感染予防対策強化（施設の消毒徹底・3密防止）

5. 役所の対応について

- ・閉庁時の人的確保、実証実験中の AI 家康くんの活用など相談体制の強化
- ・転入出や給付金手続きなどの窓口の混雑対応として電子申請や郵送手続の推進
- ・窓口における感染を防止するための防護設置

6. その他

- ・友好都市協定締結都市に対する協力要請（マスク・消毒液などの備品確保）
- ・自治会や PTA 等の行政機関や学校等と連携する団体の活動に対する指針作成
- ・国勢調査員や民生委員など多数の人と面会する必要がある事務の活動見直し

以上